

正しいか正しくないか、よりも 楽しいか楽しくないか、を大切にしたい。

車は、走ればいい。
ペンは、書ければいい。
服は、サイズが合えばいい。
そんな考え方も、確かに正しい。
でも、ちょっと寂しい気がします。

そのハンドルを握ると、どこかへ旅に出たくなる。
そのペンを手にすると、誰かに手紙を書きたくなる。
その服に袖を通すと、気持ちも足取りも軽やかになる。
暮らしに寄り添うモノには、そんなふうに、
こころを豊かにする力も秘められていると思うから。

住まいも、同じです。住めればいい、というのも間違いではない。
でも、それだけでは、やはり物足りない。

だから、トーシン不動産販売は、
細部までじっくりと思案を重ね、「住まいのデザイン」にこだわります。
奇をてらわず、時代に迎合せず、細部にも工夫を凝らし、
わたしたちにしか描けない住まいを求めて。

帰宅して、わが家をふと見上げた時。
休日に、家族や友人があつまって憩う時。
朝起きて、窓の外をぼんやり眺める時。
なにげないそのシーンに、こころを動かす力を込められるように。

正しいか正しくないか、は分かりません。
ただ、そのほうが、絶対に暮らしは楽しくなる。
わたしたちは、そう信じています。

「違う」に、こだわる。

N·ist

エヌ・イスト